

消費税増税 困ります 札幌の商店街



ポイントと言われても...

増税中止させようと
対話する小室氏(左)
11日、札幌市北区

止へ全力を挙げています。日本共産党の政策と提案をもちましたので、ぜひご覧ください」と話す。この店でも「ほんとに困ります」「ポイントと言われても、うちは現金商売です」「頑張ってください」と激励が次々。署名用紙を置いてくれる店もありました。

当初、「仕方ないんじゃないの」といっていた商店主は「弱い者いじめの増税」と話が弾み、署名しました。話せば話すほど、党の政策への共感と増税を強いる安倍政権への怒りが広がりました。

「現金のみ」の表示をレジスターに掲げている店に対話。「うちもポイントはあるよ」という店主に、娘が「お父さん、それは違うの。クレジットやらなまきゃタメなの」といわれ、店主は「お客さん、チェーン店に行っちゃうんですかね」と不安そうに語ります。

小室氏は「増税の断固阻止へ本気の国民運動に全力を挙げます」と表明しました。

小室市議候補が対話

「日本共産党の後援会で」と元氣よく訪ねた商店街で対話が広がりました。札幌市北区の日本共産党札幌北区地区委員会と小室正範市議候補は1日、商店街を軒並み訪

問、消費税増税中止を呼びかけた党の政策を届け、署名を訴えました。地域の後援会員ら8人が参加。全員で宣伝した後、訪問隊と宣伝隊に分かれ、1時間で28店を訪ねました。「来年10月の消費税増税中